

## マックスマーラがスポンサーを務めるウィメン・イン・フィルムの 「マックスマーラ フェイス オブ ザ フューチャー賞®」 創立50周年を迎える今年はヤラ・シャヒディが受賞



©GETTY IMAGES FOR MAX MARA

【ロサンゼルス 発:11月30日】マックスマーラがスポンサーを務めるWIF(ウィメン・イン・フィルム)が、エンターテインメント業界におけるジェンダーの平等性と公平性を推進する活動の一貫として、その創立50周年を祝うWIFオナーズを、11月30(木)にロサンゼルスで開催しました。



©GETTY IMAGES FOR MAX MARA

2023年の「マックスマーラフェイスオブザフューチャー賞®」は、女優でありチェンジメーカーであるヤラ・シャヒディに授与されました。シャヒディはスクリーン業界におけるその見事な演技とプロデュース活動、さらには業界内外で展開する多様性尊重と平等のための取り組みにおいて注目されています。そして彼女のスタイルと気品あふれる魅力についても、この賞の授与において特筆すべき功績として高く評価されました。

マックスマーラ ジャパン PR コミュニケーション TEL: 03-5467-3707 info@maxmara.co.jp



WIFによる毎年の助成金は、WIFの教育・慈善プログラムや、業界全体のジェンダー平等のためのアドボカシー活動を支援するために役立てられています。今年のWIFオナーズは、ハリウッドにおけるジェンダー平等のために戦ってきたWIFの50周年を記念し、エンターテインメント業界をより良い方向へと転換させるために最前線で活躍する優れた女性たちを表彰し称えます。



前日のレセプションパーティにてヤラ・シャヒディとマックスマーラ グローバルブランドアンバサダ ーのマリア・ジュリア・ジャーマネッティ・マラモッティ ©GETTY IMAGES FOR MAX MARA

## マックスマーラについて

1951年、一家に代々伝わるファッションへの情熱を受け継いだアキーレ・マラモッティにより設立されたマックスマーラは、イタリアのラグジュアリーとスタイルを象徴する存在としての地位を確立しています。自信に満ちた女性のためのモダンなレディ・トゥ・ウェアとアクセサリーのコレクションを展開するマックスマーラは、洗練されたシルエットと美しいデザイン、そしてオートクチュールのように細部にわたる丁寧な仕事が施されたマックスマーラファッショングループの最高峰のコレクションです。時代を超越した感性と最高級の素材で作られるマックスマーラは、世界100ヶ国以上、2,500もの店舗で販売されています。マックスマーラファッショングループでは、その傘下に9つのブランドを展開。株式非公開企業である同社は、現在もマラモッティ・ファミリーによって経営されています。

## ウィメン・イン・フィルムについて

1973年に「Women In Film, Los Angeles」として設立されたWIFは、ジェンダー平等を目指して活動を続け、今年で50周年を迎えます。WIFの支援活動やキャリアプログラム、研究活動は、ハリウッドにおける女性やマイノリティジェンダーの存在感を高めるための原動力となっています。WIFは、パイプラインを構築し、キャリアの持続可能性を高め、変化を推進することによって、映画産業におけるジェンダーバイアスを撲滅することに尽力しています。映画業界に関わる人であれば、誰でも参加することができます。詳しくは、WIFのウェブサイトwif.orgをご覧ください。Twitter、Instagram、Facebook、TikTok、YouTubeでもWIFをフォローしてください。

## 「マックスマーラ フェイス·オブ·ザ·フューチャー賞®」について

2006年のWIFクリスタル+ルーシー・アワード(現「WIFオナーズ」)で第1回受賞者が発表されたWIF Max Mara Face of the Future Award®(WIFマックスマーラ フェイス・オブ・ザ・フューチャー賞®)は、映画界やテレビ界での活躍、地域社会への貢献を通じて、キャリアの転機を迎えている女優に、その輝かしい実績と、スタイルと気品を体現した人の功績を讃えて贈られるものです。過去の受賞者には、リリ・ラインハート、ザジー・ビーツ、ジェンマ・チャン、エリザベス・デビッキ、アレクサンドラ・シップ、ゾーイ・ドゥイッチ、ナタリー・ドーマー、ケイト・マーラ、ローズ・バーン、ヘイリー・スタインフェルド、クロエ・グレース・モレッツ、ケイティ・ホームズ、ゾーイ・サルダナ、エリザベス・バンクス、ジニファー・グッドウィン、エミリー・ブラント、マリア・ベロなどが名を連ねています。